

せんだいししょうがいしゃしゅうろうしえん
仙台市障害者就労支援センター通信

はたらくネット



仙台市障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労が促進されるように「障害のある方」「企業」「障害のある方の就労支援をしている方」の支援に特に力を入れて、様々な取り組みを行っております。

「障害のある方の就労」に対して、多くの方に興味関心を持っていただき、「障害のある方を受け入れる企業の立場」「障害のある方の支援をする立場」等様々な人たちが「障害のある方の就労」に関り、促進されていることを知っていただきたいと考えております。

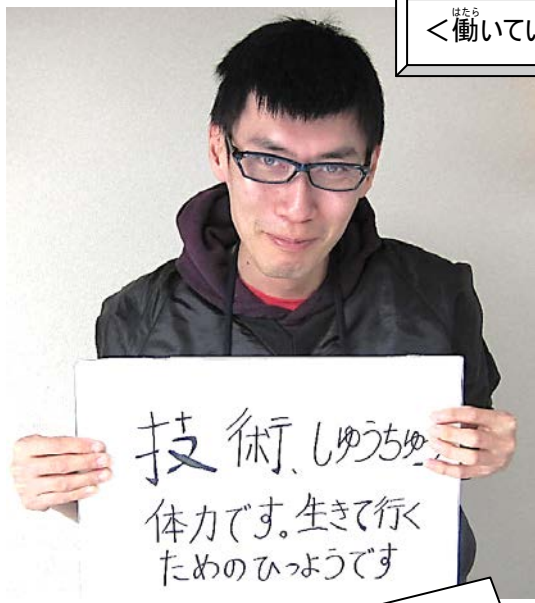
そして、「障害のある方の就労」への理解が広まり、さらに就労が促進される環境を作っていきたいと考えております。

あなたにとって「はたらく」とは？



働いている障害のある方、障害のある方を雇用している企業の方、障害のある方の就労支援をしている職員の方、それぞれに「はたらく」とは何かを聞いてみました。

働いている障害のある方々



技術・しゅうちゆう・体力

株式会社ジェー・シー・アイ・セルフサポートセンター 扇

菊池 孝さん

生きていくため・働き続けるために必要なこと。とぎれることのないよう続けていきます。



一人ぐらしをするため・生活するため

株式会社ジェー・シー・アイ・セルフサポートセンター 扇

渡辺 正治さん

現在、グループホームで生活しています。自立した生活を送ることが目標です。目標にむかってがんばります。

2ページへつづく

もくじ：あなたにとって「はたらく」とは？

- はたらくみなさんに聞きました「株式会社ジェー・シー・アイ」・・・1～2ページ
- 企業に聞きました「株式会社ジェー・シー・アイ」・・・3ページ
- クローズアップおっきな輪 「就労移行支援事業所 わ・は・わ広瀬」・・・4ページ
- 就職者、実施報告・・・5ページ
- センターの取り組み、新スタッフ紹介・・・6ページ
- 仙台市障害者就労支援センター利用案内・・・7ページ
- ・・・8ページ



あなたにとって
「はたらく」とは？



<障害のある方を雇用している企業の方>

《夢の実現》

株式会社ジェー・シー・アイ
セルフサポートセンター扇
センター長
土岐 昌弘 さん

どなたでも夢をもって実現していきま
しょう。

きびしい世の中ですが夢をもって前に進む
と良い方向・働くことにつながります。

一人、一人少しづつでも前に進んでいきま
しょう。

<障害のある方の就労支援をしている方>

《自分らしく人生を楽しむ》

就労移行支援事業所 わ・は・わ広瀬

就労支援員 菅原 光さん

人生のなかで働いている時間は大きな
割合をしめています。働いている時間をよ
り自分らしく人生を楽しむ材料にしてい
きたいです。

ありがとうございました。

次号も様々な方にこの質問を
投げかけていきます。



はたらくみなさんに聞きました！

株式会社 ジェー・シー・アイ

昭和51年の創業当時から障害者雇用に取り組んでいる株式会社
ジェー・シー・アイ。
更に障害者雇用を進めるため平成25年1月、就労継続支援B型事業所※
【セルフサポートセンター扇】を開設。
B型事業所で訓練中の菊池さん・渡辺さんと、レンタル管理課で長年働いて
いる遠藤さん・千葉さん(4名とも知的障害)にお話を聞きました。
(取材日 平成25年2月)

《株式会社ジェー・シー・アイ》

創業：昭和51年4月 本社：仙台

営業種目：福祉用具の販売・レンタル、

オーダーメイド車いすの製造・販売、

住宅のリフォーム、病院・福祉施設用設備機器・

備品の販売、医療・リハビリ機械器具の販売、

福祉施設的设计・コンサルタント業務

営業エリア：東北六県及び北海道

※一部商品については全国

従業員数：102名(平成24年6月)

◆障害者雇用状況◆

雇用者数：8名(平成25年2月)

【セルフサポートセンター扇】で作業訓練している2人

渡辺正治さんに聞きました。

- 働いてよかったことは？
今まで出来なかったことが少しずつ
できるようになったことがよかったです。
- 働いてみて難しいことは？
レンタル用の車椅子の部品の
泥よごれの洗浄が難しいです。



菊池孝さんに聞きました。

- 働いてよかったことは？
みなさんにわかりやすく親切に
教えていただけることです。休憩の
時には自分から話しかけるようにして、みなさんと仲良く
働いていきたいです。
- 働いてみて難しいことは？
現在、福祉用レンタルベッドのクリーニングの仕事をし
ています。消毒の量の調整が難しいです。



※就労継続支援B型事業所とは

通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が
困難である人に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供
その他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要
な支援事業を行う施設。



◆写真上

左から渡辺さん、センター長の土岐さん、菊池さん
2人は一晩オゾン消毒した福祉用ベッド等のレンタル品の清掃・点検しています。

レンタル管理課で働く2人



遠藤志郎さんに
聞きました。
(勤続13年)

- 働いてよかったことは？
みんなと一緒に働いていると楽しいです。
- 働いてみて難しいことは？
修理の判断が難しく、みんなに手伝ってもら
うことがあります。



千葉裕之さんに
聞きました。
(勤続7年)

- 働いてよかったことは？
自分が清掃・消毒したベッドが人の役に立っていること
を知る機会があり、この仕事に関わることができてよかつ
たです。
- 働いてみて難しいことは？
商品が返却されたときに、修理に必要な部品を予測し
準備することが難しいです。

引き続き、4ページでも株式会社ジェー・シー・アイさん取材させていただきました。⇒

きぎょう 企業に聞きました!

かぶしきがいしゃ 株式会社 ジェー・シー・アイ



かぶしきがいしゃ 株式会社ジェー・シー・アイが平成25年1月に開設した就労継続支援B型事業所「セルフサポートセンター扇」センター長の土岐さんとレンタル管理課主任佐藤さんに障害のある方の雇用のいきさつや雇用後のお話を聞かせていただきました。

(写真はセルフサポートセンター扇とレンタル管理課のみなさん)

【セルフサポートセンター扇】センター長 土岐昌弘さん



- 障害のある方の雇用を始めたきっかけは?
株式会社ジェー・シー・アイは昭和51年にセンター・インダストリーズ社の精神に基づき、障害者雇用促進を前提として創業した会社です。延べ20名の障害のある方が就労していました。その中にはその後ご自分で起業された方もいます。
- 障害のある方の雇用の状況は?
会社としては就労の人数に限界もありますし、障害のある方の働く場の拡大と提供ということで平成25年1月に就労継続支援B型事業所「セルフサポートセンター扇」を会社内に設立し訓練しています。
訓練終了後は会社での採用も考えています。現在会社内にはセルフサポートセンター扇で作業訓練中2名と社員として就労している8名の合わせて10名の障害のある方が働いています。

レンタル管理課 主任 佐藤信夫さん



- 障害のある方と一緒に働いてきて、よかったと感じる事は?
遠藤君とは13年、千葉君とは7年一緒に働いています。礼儀正しい人が多く、一緒に働いていて気持ちがいいです。他の人に負けない気持ちを持って働いてくれていることは高く評価しています。
- 障害のある方と一緒に働く上で、気を付けている事は?
危険の伴う作業は避けるように配慮しています。また、体調を崩さないように気を配っています。

◆佐藤さんから遠藤さん・千葉さんへ一言◆

明るく、そして怪我のないように。清掃作業は機械のできる仕事ではないので品質を維持しつつ時間を大切にがんばっていきましょう。

株式会社ジェー・シー・アイのみなさん、取材ご協力ありがとうございました。



クローズアップ わ おつきな輪



就労移行支援事業所わ・は・わ広瀬

仙台市障害者就労支援センターでは、就労移行支援事業所(※)等の関係機関との連携を密に図り、就労を目指している障害のある方、または、現在働いている障害のある方の支援を行っています。

その一環として、機関誌で様々な就労移行支援事業所の特色や就労移行支援事業所から就労した方についてシリーズで紹介していきます。

※ 一般就労等への移行に向けて、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後の職場定着の支援を行う施設。

◆ある一日を取材してきました。(平成25年1月取材)

【一日の作業スケジュール例】

8:50~	ミーティング
9:00~12:00	さぎょうくんれん 作業訓練
12:00~13:00	ひるやすみ 昼休み
13:00~16:00	さぎょうくんれん 作業訓練

無理なく、あせらず

確実に。

作業内容としては室内作業はペット用品作成・ダイレクトメール作成・リサイクルせっけん製造。室外作業はダイレクトメール配達(毎日)・倉庫内作業。不定期・通年での作業もあり、さまざまな作業に取り組む機会を提供しています。



リサイクルせっけん製造(左)とアクセサリ作り(右)の様子



出来上がったリサイクルせっけん(左)とアクセサリ(右)の
このようにパッケージされ陳列・販売されています。

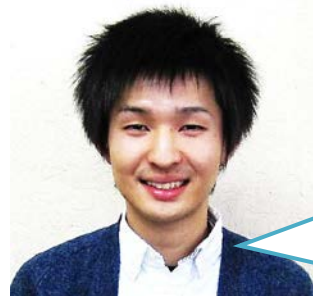
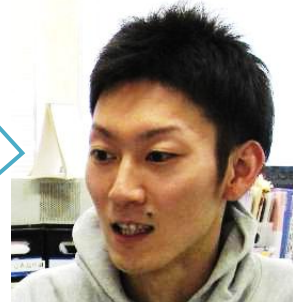
管理者 大和田悠介さんと就労支援員 菅原光さんに
お話を伺いました。

Q1: 就労訓練の基本方針を教えてください。

A1: 「精神障害」「知的障害」のある方を中心にすべての障害のある方を受け入れています。目標に向かって小さな階段を設定し、クリアすることで自信獲得につながられるようサポートしています。「就職したい。」を応援します。

就労支援では「責任」を意識して利用者さんに作業していただいています。

(大和田さん)



状況によって仕事は変わ
ることを利用者さんに説明
しています。(菅原さん)

Q2: 独自の取り組みや力を入れている点を教えてください。

A2: 通常の作業訓練と併せて「座学」を取り入れています。「座学」を行う目的としては、①「就職」そして「働き続けるため」に必要な知識を理解するため②就労セミナー等の大人数の開催で「質問が出来なかった」「話が難しかった」との申出が多く、少人数のグループで取り組めるものが必要と感じ「座学」を設定しました。

みなさんの
も持っている力を
十分に発揮できる
ようサポートします!



わ・は・わ広瀬の職員のみなさん。

左上から菅原さん・大和田さん。左下から小新さん・石川さん。

就労移行支援事業所 わ・は・わ広瀬

〒989-3126仙台市青葉区落合2-2-41

電話：022-392-0851 Fax：022-392-0861

しゅう しょく しゃ
就 職 者

つき	就職者数	職種(雇用形態)	障害種別	就職決定までの流れ ※概要
12月	3名	事務補助(臨時・契約)	身体	「企業見学会」に参加し、面接を受け、障害特性を踏まえた作業提案を行い、企業から理解と協力を得て決定。
		洗車作業(パート)	知的	仙台市知的障害者非常勤嘱託職員※1)在職中に「企業見学会」「企業実習」に複数回参加。「ふれあいワークフェア・障害者就職面接会」※2)に参加し、面接を受けて決定。
		一般事務(臨時・契約)	知的	「企業見学会」に参加し、面接を受けて決定。
1月	4名	事務補助(臨時・契約)	精神	「企業見学会」に参加し、面接を受けて決定。
		調理補助(パート)	精神	「企業見学会」に参加し、面接を受けて決定。
		車輦軽作業(パート)	身体	「企業見学会」に参加し、面接を受けて決定。
		車輦整備(正規)	精神	「企業見学会」に参加し、「職観制度」を利用した実習を経て、決定。
2月	5名	介護補助(パート)	精神	本人は介護の仕事に興味があり、企業と調整、コーディネートを行った。当初、雇用の予定はなかったが、本人の熱心な姿勢が認められ採用となった。
		軽作業(臨時・契約)	精神	「ふれあいワークフェア・障害者就職面接会」※2「仙台市障害者就労体験実習」「企業見学会」等に多数参加し、見極め実習を経て決定。
		軽作業(臨時・契約)	発達	「仙台市障害者就労体験実習」「企業見学会」に複数回参加し、見極め実習を経て、決定
		調理補助(パート)	知的	「企業見学会」に参加し、見極め実習を経て、決定。
		CAD設計(臨時・契約)	発達	「企業見学会」に参加し、見極め実習を経て、決定。

※1) 知的障害のある方の雇用促進を図ることを目的とした雇用で、社会人として必要なマナーやスキルを身につけ、一般企業への就労を目指す仙台市の取り組み。

※2) 1月31日(木)に開催しました「ふれあいワークフェア・障害者就職面接会」では、ハローワーク仙台や企業の方に面接官役を依頼し、模擬面接会を行いました。

じっ し ほう こく
実 施 報 告

◆企業見学会・企業実習を開催しました◆

様々な企業の職場を見学・実習し、自分に合った仕事を探します。

	企業見学会			企業実習		
	実施数	参加者	職種	実施数	参加者	職種
12月	6社	6名	調理補助, 事務補助, 車両軽作業, パソコン入力	2社	7名	ダンボール組立, 清掃作業
1月	3社	4名	調理補助, CAD業務, 食器洗浄	3社	5名	調理補助, CAD業務, ダンボール組立
2月	2社	12名	事務補助, 調理補助	3社	5名	食器洗浄, 事務補助, 調理補助

平成25年4月から「就労支援サポーター」が活動を始めます。

就労支援サポーターとは？

障害のある方の就労への理解、就労支援の輪を広げて行くことをねらいとして、仙台市障害者就労支援センターの各種事業と一緒に活動いただく方々です。

どんな活動をするの？

例① はたらく障害のある方のつどい

働いている障害のある方の余暇の過ごし方の充実をねらいとして行っています。

→ 開催例 料理教室、入浴剤作り、悪質商法にあわないための対処法等

◆就労支援サポーターの活動は
当日の受付、進行補助。企画、運営、講師役等。



例② ふれあいワークフェア対策講座

年2回行われる障害者就職面接会に参加する方のための事前対策講座を行っています。

→ 開催例 模擬面接会

◆就労支援サポーターの活動は
当日受付、進行補助。企画、運営、模擬面接官役等。



例③ 広報啓発活動

市民に向けた広報啓発活動として年4回機関誌を発行しています。

その他、ホームページ等を使った広報活動をしています。

◆就労支援サポーターの活動は
機関誌の発送準備・配布活動等。より効果的な啓発活動への取り組み方法の創出。

活動の魅力

- ☑ 障害について学べます。
障害についての知識を深め、障害のある方との関わりを通して、障害について学ぶことができます。
- ☑ 様々な人と交流ができます。
障害のある方だけでなく、就労支援サポーター同士の交流を通して、自分の視野を広げることができます。
- ☑ 自分の力を発揮できます。
自分がこれまで培ってきた経験や特技等を活動の中で発揮できます。

〈ご案内〉

就労支援サポーターは1年間活動を行います。

1年ごとに就労支援サポーター説明会を行います。説明をお聞きいただいた上で活動をご希望される方10名に

「就労支援サポーター」としての活動をご依頼します。

活動に興味関心のある方は来年度も募集予定ですので「平成26年度就労支援サポーター説明会」には是非ご参加ください。

開催のお知らせは、機関誌や当センターホームページ等に掲載いたします。

◆新職員を紹介します



支援員
ひの 勇一郎
Shigenori Hirono

主に相談支援業務を担当します。
みなさんのお役に立つことができるよう
努力して参ります。
よろしくお願いいたします。

仙台市障害者就労支援センター利用案内

■ 利用時間:

	月曜日～金曜日	土・日・祝
窓口での相談	8:30～17:00	休み
電話相談・移動相談	8:30～19:30	8:30～17:00

※ 土日祝日は各区にある障害者福祉センターなどにおいて「移動相談窓口」を設けます。

※ 移動相談の日程は、市政だより・当センターホームページに掲載しています。

※ 12月29日～1月3日はお休みとなります。

■ 相談方法: 来所・電話・FAX・Eメールにて受け付けております。

※ 来所は原則として予約制です。事前にセンターまで希望日時をお知らせください。

こんな相談をお受けしています。



〈障害のある方〉

- 働きたいのですが、何をどうしたらいいかわかりません。
- 仕事はどうやって探したらいいですか？
- 仕事を辞めてしまって、どうしたらいいかわかりません。
- 仕事がうまくできなくて困っています。

〈企業・事業所の方〉

- 障害のある方を雇用しようと思うのですが、どんな配慮が必要ですか？
- 障害のある方を雇用する際に利用できる制度はありますか？
- 障害のある方の雇用を続けるための工夫や環境整備の仕方を教えてください。

■ 費用: 相談・支援サービスは無料です。

※ 実習等にかかる交通費、食事代等は実費負担があります。

■ 対象となる方: 仙台市にお住まいの15歳以上の障害のある方で就労希望、もしくは就労中の方。

※ ご家族・事業主様からの相談もお受けします。 ※ 障害者手帳の有無は問いません。

■ アクセス:



編集後記

新しいメンバーを加えて新たな体制となりました。当センターの機関誌を読んでいただく事により様々な就労に関する情報を提供できるよう努めて参ります。これからもよろしくお願いたします。



発行: 仙台市障害者就労支援センター

(指定管理者: 財団法人仙台市障害者福祉協会)

住所: 〒981-3133

仙台市泉区泉中央2丁目1-1

泉区役所東庁舎5階

電話: 022-772-5517

FAX: 022-772-5519

Eメール: info@sendai-wsc.jp

ホームページ: http://www.sendai-wsc.jp